



第320号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 小原 望 / 山崎美佳
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

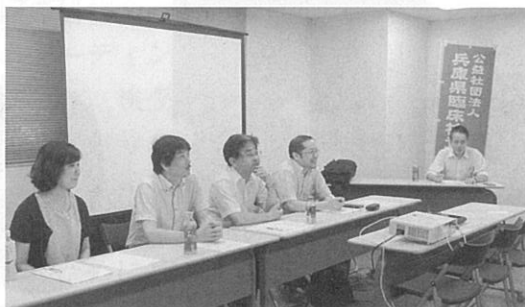
今月の内容

- 阪神・神戸地区合同施設責任者・連絡者会議開催される・新入会員研修会・交流会開催される 1~2
- 《各部局報告》 3
- 《行事予定表》 4~5
- 《賛助会員コラム》・《各部局報告》・《求人情報》 6~7

阪神・神戸地区合同施設責任者・連絡者会議開催される

平成28年8月6日兵臨技研修センターにおいて、阪神・神戸地区合同施設責任者・連絡者会議が開催されました。中町会長挨拶のあと、役員の紹介がありました。

続いて検体採取、検査説明、兵臨技からのメールでの案内、学会等を中心に兵臨技活動について活発な意見交換がされました。



平成27年4月以降、検体採取等業務が臨床検査技師の業務範囲に含まれることとなり、厚生労働省指定講習会を修了しないと新たな検体採取等の業務には従事できなくなります。この指定講習会は、臨床検査技師の国家資格に関わる重要な指定講習会で、全員の受講が求められています。今年度11月12・13日(関西医大枚方病院)に開催される講習会は受付スタッフなど兵庫県が担当いたします。

次に検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会は、今年度で3年目となりますが、現状では病院にどのくらい浸透しているかを発端に、病棟検査技師の役割など議論されました。さらに業務拡大を目的に内視鏡検査技師についても紹介されました。兵臨技からのメール案内は日臨技のシステムを利用して、兵庫県会員に配信していることを伝えられました。

また2016年8月末~9月4日まで開催される全国学会(IFBLS: International Federation of Biomedical Laboratory Science 国際学会、日本医学検査学会、日本臨床検査医学会、日本臨床検査学教育学会学術大会同時開催)を実施するにあたり、会員の皆様のご理解とご協力が必要であることをお願いしました。

正しい検査は、正しい検体採取から

臨床検査技師等に関する法律の改正により
平成27年4月1日から
私ども臨床検査技師の業務として
検体の採取と検定・検定検査が追加されました

- ①検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)
- ②検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)
- ③検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)
- ④検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)
- ⑤検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)
- ⑥検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)
- ⑦検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)
- ⑧検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)
- ⑨検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)
- ⑩検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)

検査のプロが責任を持って採取しています

正しい検査は、正しい検体採取から

一検査のプロが責任を持って採取しています

①臨床検査技師等に関する法律の一部改正
臨床検査技師等に関する法律の一部改正により、平成27年4月1日から、私ども臨床検査技師の業務として、検体の採取と検定・検定検査が追加されました。

②検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)

③検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)

④検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)

⑤検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)

⑥検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)

⑦検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)

⑧検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)

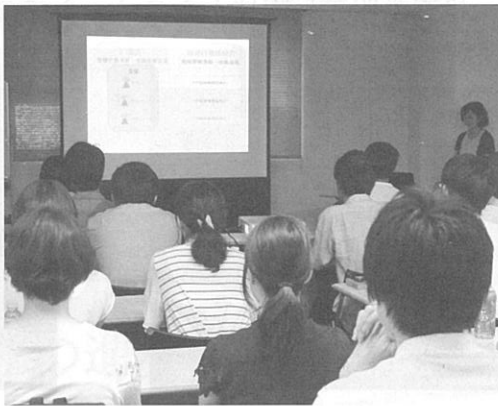
⑨検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)

⑩検体採取に際しては、検体採取の目的、検定検査の目的、検定検査の結果を説明する行為(生体への負担を軽減し、検定検査の結果を説明する行為)

新入会員研修会・交流会開催される

同日同研修センターにおいて、新入会員研修会が開催されました。井垣副会長がビデオを用いて、日本臨床衛生検査技師会（日臨技：Japanese Association of Medical Technologists；JAMT）の組織の成り立ちや活動について紹介しました。ビデオの最後には宮島会長へのインタビューもあり、新入会員にとってわかりやすい内容であったと思います。次に真田副会長が兵臨技の活動等を実際にインターネットを用いてホームページをみながら解説されました。ところが、今年度も突如としてパソコンがフリーズし、待機状態となりました。このハプニングを利用して「我々臨床検査技師も急変時の即座な対応が要求されますが、臨機応変に行動しなければなりません。」と動じることなく締めくくられました。

続いて、神前雅彦先生（兵庫医科大学病院）による「検査前プロセス－採血の基本と患者対応－」の講演、吉田弘之先生（神戸大学大学院保健学研究科）による「誰でも出来る感染対策 ～臨床検査技師が知っておきたいこと～」と題して講演が行われました。



井垣副会長



真田副会長



神前先生



吉田先生

研修会の終了後、兵臨技主催施設交流会・新入会員歓迎会も開催されました。交流会は参加された会員の皆さんが時間の経つのも忘れるくらい、始終和やかな雰囲気でした。施設や年代を問わず様々な意見交換できる機会は貴重であると同時に、新入会員の皆さんにとって良い刺激、励みになったと思います。また来年開港150年を迎える神戸港にて「第46回みなとこうべ海上花火大会」が行われており、新入会員を歓迎するかのように仕掛け花火が神戸港一帯を照らし出し、約1万発の花火が夏の夜空を彩る様子が会場の窓から観えました。なおこの研修会・交流会に参加された新入会員の感想文は次月号に掲載いたします。



各部局報告

組 織

第37回 丹但地区研修会に参加して (6月26日)



上田 春菜 (公立豊岡病院)

第37回丹但地区研修会が公立八鹿病院講堂で開催され、入職後、初めての研修会として参加させていただきました。

午前中は、幅広い分野から6題の一般演題と、凝固検査の検体取扱い標準化の動きについての特別演題がありました。日常業務では、配属された分野についてばかり勉強することが多く、他の分野についてはあまり理解できていません

でしたが、様々な演題を聞いたことにより、知識が増え、検査に対する視野が広がりました。

午後は、「蚊やダニからうつる最近話題の感染症～デング熱やジカ熱などから身を守るためには?～」と題された市民公開講座がありました。これらの感染症については、テレビや新聞等でもよく取り上げられており、大変興味のある内容でした。今回の講演では、デング熱やジカ熱、重症熱性血小板減少症の症状や対策等、すぐにでも実践できる内容を聞くことができ、より理解が深まったと同時に、自分自身の周りの人にも広めていきたいと思いました。

今回の研修会において、丹但地区では初めての試みである、ランチタイムミーティングも行われました。検査部門単位に分かれ、近隣施設の方々と、検査の方法や取り組み、疑問等について意見交換することができ、自分たちの行う検査をさらに向上させる良い機会になりました。

初めて参加した丹但地区研修会でしたが、どの演題も興味深く、患者さんのために日々専門性を発揮し働かれていると感じました。今回の研修会で学んだことを生かし、まずは日常業務をきちんとこなせるよう地道に努力していきたいです。

～ 第7回市民公開講座 ～

**「蚊やダニからうつる
最近話題の感染症!」**

～デング熱やジカ熱などから
身を守るためには?～

講師 **黒田 達実先生**
公立八鹿病院 内科・総合診療科部長

日時 **6月26日(日曜日)**
午後1時30分～午後3時

場所 **公立八鹿病院 講堂**

**参加
無料です!**

主催/公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
協賛/養父市



足立 篤則 (公立八鹿病院)

公立八鹿病院で行われた丹但地区研修会に初めて参加させていただきました。

午前中は一般演題で各病院や企業の方々が発表をされていました。普段日常の業務で聞けない内容や検査の基本的な知識についてなど聞くことができ、勉強になりました。また公立八鹿病院の先輩方も発表をされており、いずれは

自分もあの場所に立って発表することを考えると身が引き締まりました。

昼食の時間では今年からの試みであるランチタイムミーティングが行われました。担当部門毎に別れて食事をしながら検査や病院の運用、雑談などして各病院同士で交流しました。

午後からの市民公開講座では蚊やダニなどからうつる感染症についての話を聞きました。普段周りにいる蚊によって感染すると聞いて対策をしなければならないと思いました。

最後に、若い技師が発表しており質問にもよく答えている姿と現在の自分を比べると自分も努力をしなければならないと思いました。この研修会での経験を活かして日々精進したいと思います。

賛助会員

ヨラム [53]

東芝メディカルシステムズ(株)

東芝メディカルシステムズ株式会社

佐藤 光信 (関西支社 営業推進部 検体検査システム担当)

当社は、医療事業に携わる企業として「Made for Life」を経営スローガンに、これまで、多くのお客様と共に歩み、医療の未来に貢献してまいりました。

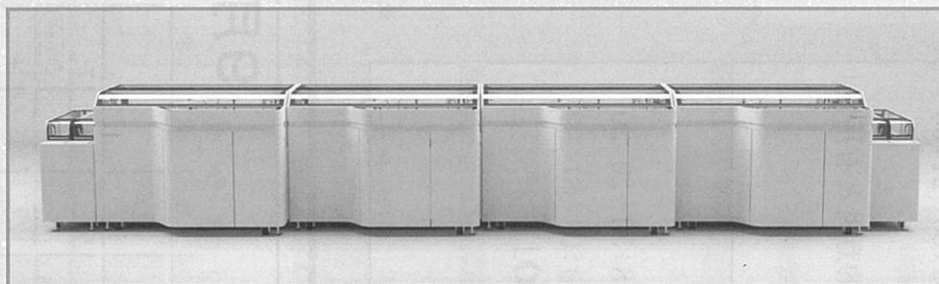
「健康と尊い命を守る医療に貢献する」

「高品質で信頼性のある『商品』と適切な『サービス』を提供する」

「お客様と共に歩み・成長していく企業を目指す」

この3つの経営理念に基づいて事業活動を行っています。

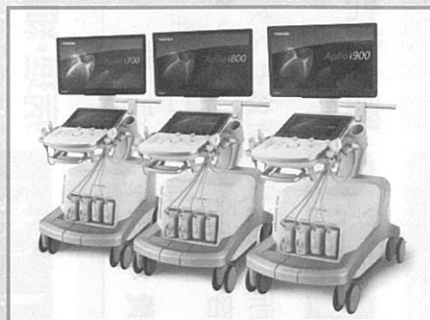
検体検査システム事業では、生化学分析装置のFRシリーズとして、TBA-120FR、TBA-2000FR。アボットジャパン社、全自動化学発光免疫測定装置 ARCHITECT 連結装置のシリーズとして、TBA-c4000、TBA-c8000、TBA-c16000をラインナップ。昨年、いかなるシーンでも、ニーズに応える柔軟性、優れた拡張性、高速処理を可能としたFX8をリリースしました。1モジュール比色最大2000テスト/時で、最大4モジュールの接続により、比色8000テスト/時を可能とした最も検体処理スピードが速く、高機能を搭載した最高スペックの製品です。



臨床化学自動分析装置 TBA-FX8

超音波診断システム事業では、iBeam技術でより高精細な画像を提供するプレミアム超音波装置 Aplio™ i シリーズ (Aplio i 900、Aplio i 800、Aplio i 700) を新しくリリースしました。新製品では、浅部から深部まで細く均一な超音波のビームを高密度で送受信できる技術を開発しました。これにより均一で高精細な画像を描出することが可能になり、検査効率の向上に貢献します。さらに、当社独自の微細な血流を描出する技術「SMI (Superb Micro-vascular Imaging)」において、より細かな血流を感度良く描出することが可能になり、新たな診断領域への適応が期待できます。Aplio i シリーズは、臨床現場のニーズに答えるべく開発された革新的な新技術の投入で、大きくステップアップした当社最高級プレミアムシステムです。

東芝メディカルシステムズは、これからも医療環境の変化に対応し、“人に優しい患者中心の医用装置とシステム”並びに“環境に配慮したトータルサービスとしての医用ソリューション”を提供していきます。

超音波診断システム Aplio シリーズ
(Aplio i900、Aplio i800、Aplio i700)

組 織**第34回西播地区研究発表会に参加して** (7月3日)

高橋 祐輔 (姫路市医師会)

7月3日太子町文化会館あすかホールにて、第34回西播地区研究発表会が行われました。今回の内容は、臨床検査各分野の演題と第6回医療公開講座「肝臓病の明るい展開」でした。

演題では「蛭虫検査の現状とこれから」の中で、学校保健安全法の改正による蛭虫検査の廃止に伴って、セロハンテープの製造中止や蛭虫検査の機会が少なくなることを受け、陽性検体の標本を鏡検し、蛭虫(卵)の形態を技師間で共有し検査の精度を維持していくことが重要だと感じました。

また「好中球系細胞の目視分類法」の演題では、杆状核球と分葉核球の分類についての発表がありました。杆状核球と分葉核球の分類では、長径と短径の比率が3:1以上または赤血球直径の1/4(約2 μ m)の大きさの判断境界付近にある細胞を、複数の技師が同じ判断をできるようにすることの難しさを感じました。

医療公開講座では、肝炎のとき肝炎ウイルス本体は肝臓を壊さないことが強く印象に残りました。また肝機能の指標とされる γ -GTより、血小板生成を促す物質が肝臓でつくられるので血小板数をみることの重要性を改めて認識することができました。

今回このような発表会に初めて参加させていただき、まだまだわからないことも多いのですが、一歩ずつステップアップしていきたいと思っています。

**求人情報**

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●神戸こども初期急病センター

交 通：阪神春日野道駅下車 徒歩10分
 採用条件：パート勤務(詳細はHPを参照)
 業務内容：血液一般 血ガス 尿一般(沈査あり)
 生化学 心電図 電カル操作
 連絡先：078-862-6075 (総務課 滝川)

●金沢病院

交 通：JR六甲道駅、阪急王子公園駅、
 阪神大石駅、阪急六甲駅共に徒歩10分
 採用条件：正職員
 業務内容：検査業務全般
 連絡先：078-871-9004 (担当 藤井)

●国家公務員共済組合連合会**六甲病院 検査科**

交 通：JR六甲道駅、阪急六甲駅より
 神戸市バス16系統高羽町下車3分
 採用条件：パート職員
 業務内容：検査全般(細胞検査士の方歓迎)
 連絡先：078-851-8558 (庶務課 安田)

●医療法人社団六心会 恒生病院

交 通：神戸電鉄道場南口下車 徒歩5分
 採用条件：正社員・パート各1名(土曜勤務相談)
 業務内容：超音波検査(要経験)及び検査全般
 連絡先：078-950-2622 内線211 (山崎)

●医療法人社団 清和会 笹生病院

交 通：阪神香櫨園駅下車 徒歩6分
 採用条件：契約社員
 業務内容：一般検査、生化学、血液、血清、生理検査
 連絡先：0798-34-0605 (人事採用課 清原)

●高砂市民病院

交 通：山陽電鉄荒井駅下車 徒歩3分
 採用条件：臨時職員(10月から採用)
 業務内容：検査業務全般
 連絡先：079-442-3981 内線5260 (総務課 管理係)

●医療法人尼崎厚生会(財団)立花病院

交 通：JR立花駅下車 徒歩4分
 採用条件：常勤及び非常勤
 業務内容：検体検査及び生理検査
 連絡先：06-6431-5861 (人事 岡崎)

平成28年度 兵庫県 健康福祉まつり

ふれあいの祭典 丹波ふれあいフェスティバル
～実り豊かな“丹波の森”から弾ける笑顔～

毎年1回、兵庫県内の各地域持ち回りで開催している「ふれあいフェスティバル」は、本年度は丹波地域を会場にして開催されます。多種多様なブースが出展されるなか、県民一人ひとりが健康や福祉について広く理解し、共に考え、多くの方に体験してもらえる場として“健康福祉まつり”があります。兵臨技は臨床検査を広く知っていただくために「体を見て、診る、臨床検査で健康に！」をテーマに、診断に欠かすことの出来ない臨床検査に関する説明と検査実演を行います。

日時：平成28年10月29日(土)－30(日) 10時～16時

会場：県立丹波の森公苑 (丹波市柏原町柏原5600)



未来をみつめて技術の進歩と

予防医学の向上に努力を続けています

ー化学を通じて豊かな未来づくりに貢献する専門商社ー

試薬・化学工業用薬品・臨床検査用試薬・機器



本 社
〒650-0046 神戸市中央区港島中町2丁目2番2号
TEL(078)303-3800(代) FAX(078)303-3700
兵庫西支店
〒674-0074 明石市魚住町清水字井桶田
TEL(078)942-2511(代) FAX(078)942-2515

 広瀬化学薬品株式会社

<http://www.hirosechem.co.jp/>